



瀬田の丘

創刊 1973年

編集・発行／カトリック瀬田教会信徒会広報部
東京都世田谷区瀬田 4-16-1



今日のみことば

年間第13主日 B年 (2021年6月27日)

瀬田教会主任司祭 小西広志神父

第一朗読：知恵の書 1章13—15節、2章23—24節

第二朗読：コリントの信徒への手紙二 8章7、9、13—15節

福音朗読：マルコによる福音 45章21—24、35b—43節

テーマ：死の畏

三つの朗読から

第一朗読の最初の言葉「神が死を造られたわけではなく……」(1章13節)は、読む者を死についての黙想へと導きます。生へのあきらめとして死をとらえがちな現代人に対して、神さまは被造物の死を望んでおられないことが明らかにされます。なぜなら、「神は人間を不滅な者として創造し、御自分の本性の似姿として造られた」(2章23節)からです。

第二朗読では「主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた」(8章9節)は心に刻みたい言葉です。パウロはそれを「わたしたちの主イエス・キリストの恵み」と表現します(同)。フランシスコ会訳では「わたしたちの主イエス・キリストの慈しみ」としているのが印象的です。人となった神のひとり子であるイエスさま、十字架に架けられたイエスさま、イエスさまの生き方は、わたしたちを豊かにするための貧しさだったのです。

福音朗読は長いですが、十二年間も出血する病を患っている女性の心情を味わえたらよいでしょう。ただイエスさまに触れさえすれば、何かが変わるかもしれないという思いです。また、瀕死の子どもをなんとかしてもらいたいと願う会堂長のヤイロの気持ちも味わえたらよいでしょう。どの人も切羽詰まったところで、イエスさまに「しきりに願った」(23節)のでした。

説教

わたしたちの人生の歩みの中で、死は待ちかまえています。まるで落とし穴のようにポツカリと穴があって、その中には死という化け物が棲みついでいて、人間が通るのを待ちかまえています。そして、ひとたび、この化け物に足をとられると、暗闇の中へと引きずり込まれてしまいます。死には悪魔的な力が秘め

られているのです。

第一朗読の冒頭は、そんな死に翻弄される人間への神からのメッセージとなるでしょう。「神が死を造られたわけではなく……」(1章13節)。神さまは被造物の死を望んではおられないのです。ましてや御自分の「似姿」(2章23節)として造られた人間の死は望んではおられないのです。

福音朗読は一つの長い話の中に、もう一つの話が挿入されています。よく読んで味わってみると、人間の死にはいくつかの相、あるいは姿があることに気づかされます。ヤイロの娘の死は、いわば一般的な死の姿でしょう。何か病気になって、危篤状態の娘をかわいそうに思ったヤイロは、イエスさまに懇願します。

ところで、十二年間、出血の病を患っていた女もまた、死の暗闇の手前に立たされています。彼女の肉体的な死ではなく、精神的な死です。彼女は律法に従えば「汚れたもの」です(レビ15章25-30節参照)。ですから、人々から離れて暮らさなければなりません。イスラエルの共同体から外されてしまったのです。これは、生きる希望を失う、精神的な死とも言えるでしょう。

そして、肉体的な死を迎えたヤイロの娘をめぐる、周囲の人々はこの娘と父親をさらに死の暗闇の深いところへ追いやろうとしていることにも気づかされます。「人々が大声で泣きわめいて騒いでいる」(38節)様子と、それをとがめるイエスさまを「あざ笑った」(40節)姿は、死を悼むフリをしながら、死によって娘を亡き者にしようとする思いが伝わります。この娘は、世間的にも死に追いやられたのです。

肉体的な死、精神的な死、世間的な死、ほかにも死にまつわる姿があるでしょう。人は生をあきらめて精神的に死に、肉体的な死を迎えるのかもしれませんが。そして、供養とか追悼という名のもとに世間的にも死に追いやられ、まるで生きていないかのように、あるいは生きていなかったかのように扱われるのです。と、言ったら言い過ぎでしょうか？

「イエスは、触れた者を見つけようと、辺りを見回しておられた」(32節)は、考えさせられる一文です。原文のニュアンスとしては「ずっと見回していた」だそうです。イエスさまの方から、精神的な死を迎え、生きる希望を失っていた人を見つけようとするのです。

ヤイロの娘の話には「子供の手を取って」(41節)とあります。ここでも、肉体的な死を迎え、しかも周りの人々の同情する振りをした、亡き者にしようとする悪魔的な思いに対して、イエスさまは自分が汚れてしまうことをものともせず、少女の手に触れるのです。

わずかなイエスさまの身ぶりですが、死という現実に翻弄される人間に、神さまの真実を伝えようとするイエスさまのお気持ちがよく表れていると思います。イエスさまは死に打ち勝つのです。